

10日午前3時30分現在 (読売新聞社調べ) ◆開票結果は4-6面に

衆院選

2003年(平成15年)11月10日 月曜日

与党が「絶対安定多数」

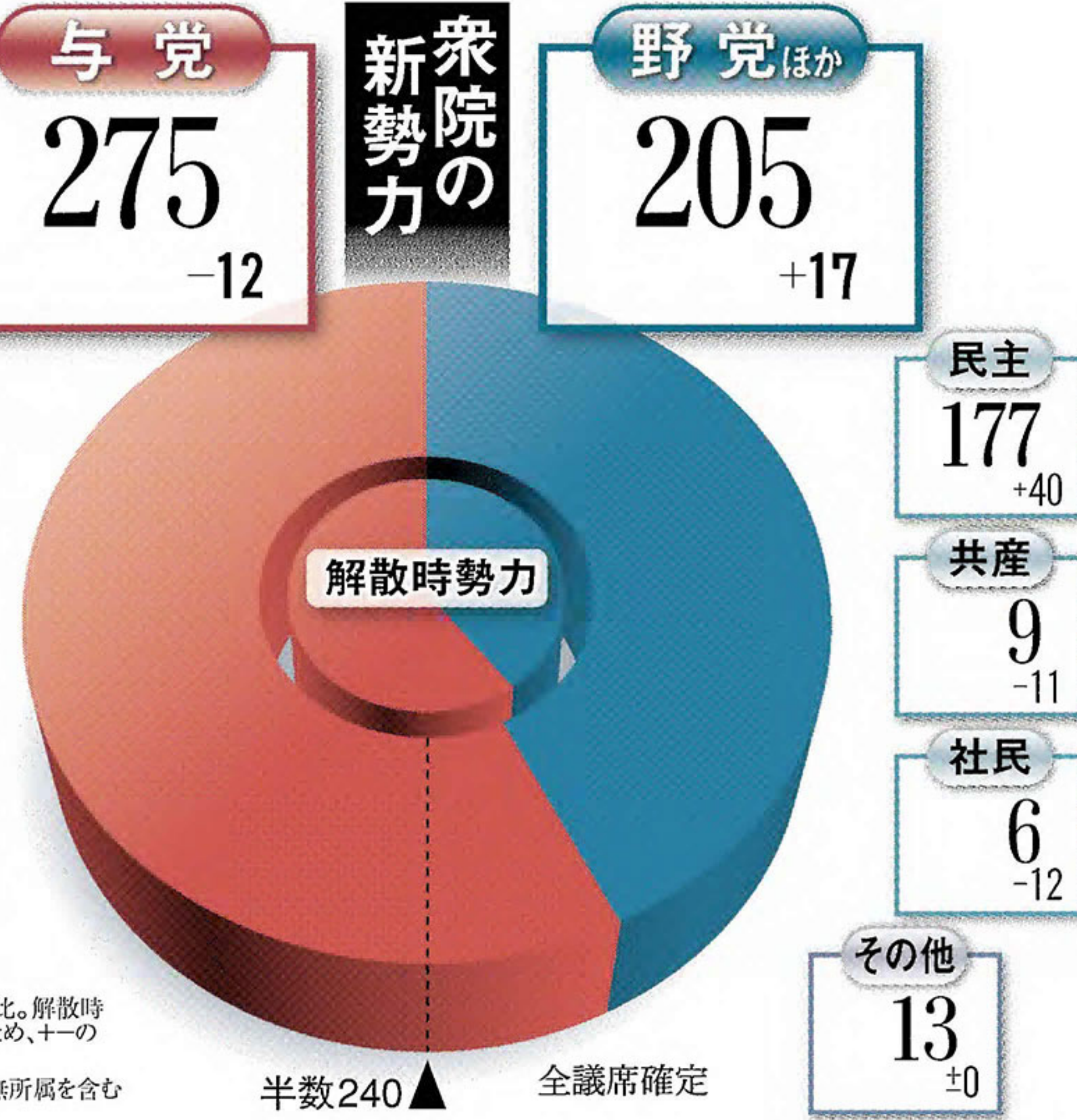
民主40増 2大政党へ

自民過半数届かず 3増



民主、比例第1党 惨敗 共・社・保 敗

今回の衆院選で、与野党「上」を初めて導入し、有権者は、具体的な政策目標を示さず、政権選択を求めた。



解散時勢力 半数240 ▲ 全議席確定

※増減は解散時勢力比。解散時勢力に欠員があるため、十一の合計は101にならない。

※その他には与党系無所属を含む

山崎 自民、熊谷 保守新 落選

社民、土井党首は比例復活

投票率59%台 推計

連立維持 首相続投

今回の選挙を歴史的に見ると、自民・社会両党の「五年体制」に匹敵する、新たな「二〇〇三年体制」の第一歩になるかもしれない。民主主義が、自民党と民主主義を中軸とする「二大政治勢力」の形成に向けて動き出した。

「2003年体制」への序章 政治部長 大久保好男

Table with columns: 選挙区, 当選, 比例, 解散時勢力, 勢力増減. Rows include 小選挙区, 民主, 自民, 公明, 保守新, 計, 定数.

衆院選で特別輸送態勢 衆議院の開議準備のため、紙面制作や輸送に特別態勢をとりました。一部地域で配達遅れや、記事の重複する場合があります。ご了承ください。

衆院選で特別輸送態勢 衆議院の開議準備のため、紙面制作や輸送に特別態勢をとりました。一部地域で配達遅れや、記事の重複する場合があります。ご了承ください。

衆院選で特別輸送態勢 衆議院の開議準備のため、紙面制作や輸送に特別態勢をとりました。一部地域で配達遅れや、記事の重複する場合があります。ご了承ください。